

スタスタLIVE英検

オンライン英検®専門指導 個別学習設計

SAMPLE

架空のモデルケースです

CASE 01 ELEMENTARY / EIKEN GRADE 3

小学5年生 中村 結衣さん

英検3級 合格プラン

現在地の診断と、合格までの学習設計

5級、4級と一度ずつで合格。読む力と聞く力はすでに基準を超えています。一方で3級から初めてライティングが加わり、それだけで得点の3分の1を占めます。つまり今回の課題は実力不足ではなく、**未経験の技能がひとつある**という状態です。ここを取り違えると、必要のない文法演習に時間を使ってしまうです。

受験予定

2026年10月4日（日）

従来型 第2回 一次 / 注3

学習期間

64日間

2026年8月1日から

1日の学習量

およそ90分

学校の宿題とは別に

この資料は、お一人ずつ手作りしています

本書は見本としてお見せするための架空のモデルケースです。実際にお渡しする資料は、面談で伺った内容だけをもとに、診断も図の数値も日程も文章も、すべてその方のために書き起こします。テンプレートに名前を差し替えたものではありません。

スタスタLIVE英検 無料相談資料 見本

英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。本書に登場する人物・成績・日程はすべて架空のモデルケースであり、実在の受講生とは関係ありません。問題数・満点スコア・合格基準スコア・試験日は同協会の公表情報に基づきます。

00 EXECUTIVE SUMMARY

この計画の要点

診断、最優先の打ち手、見通し、そして前提が崩れる条件。

所見

5級と4級はいずれも一度で合格し、3級の過去問でもリスニングは8割前後で安定、リーディングは6割前後です。一方でライティングは未着手。3級の一次は読む・聞く・書くを各550点で均等に採点するため、**書く力だけで得点の3分の1**を占めます。つまり不足しているのは英語力全般ではなく、**経験したことのない技能がひとつある**という状態です。

最優先の打ち手

Eメールと意見論述の「型」を、8月中に入れきります。難しい単語を新しく覚えることには時間を使いません。

なぜここを最優先に置くか。3級のライティングは、書き方の骨格が決まっている問題です。Eメールなら相手の質問2つに必ず答えて自分から情報を足す、意見論述なら理由を2つ挙げる。この型を外すと、英語が書けていても点になりません。逆に型さえ入れば、いま持っている語彙のまま得点が動きます。**短期間でいちばん動く場所が、いちばん未着手だった**というのが今回の構図です。

数字で見た見通し

合格基準スコア

1103 / 1650

必要な得点率はおよそ67%
注2

ライティングの比重

3分の1

550点 ÷ 1650点

一次まで

64日

8月1日から10月4日

一次から二次まで

35日

面接の準備は後回しでよい

見通し

一次は射程内と見ています。読む力と聞く力はすでに基準を超えており、残るライティングは型が決まっている問題です。1日30分を8月いっぱい配分すれば型は入り、9月は過去問を通して解く演習にあてられます。二次の面接は一次のあと35日あるため、いま先取りする必要はありません。

この見通しが崩れる条件

開始時の通し模試でリーディングが5割を下回った場合、語彙が想定より入っていないと判断します。そのときはライティングと並行して語彙を1日20分から30分に引き上げ、読解の時間を減らします。判断の材料は、開始1週間以内に実施する通し模試です。

この資料の読み方。1章で現在地とつまずきの原因を切り分け、2章でいつ受けるかを逆算し、3章でその先の見通しを置きます。4章が日々の打ち手、5章が想定されるつまずきと計画の組み替え条件です。6章以降は進め方と体制のご説明になります。

01 DIAGNOSIS / 1

現在地を、数字で押さえる

4級までとは、試験の形そのものが変わります。まずその差を押さえます。

4級から3級で、何がかわるか

	4級（合格済み）		3級（今回の目標）
リーディング 読む	35問 語彙15・会話5・語句整序5・長文10	>	30問 語彙15・会話5・長文10 語句整序がなくなり、長文の比重が上がります
リスニング 聞く	30問 応答10・会話10・文10（放送2回）	>	30問 応答10・会話10・文10 内容そのものが一段長くなります
ライティング 書く	出題なし 4級にライティングはありません	>	2問 Eメール1問・意見論述1問 新しく加わり、得点の3分の1を占めます
一次のCSEスコア	満点1000（500×2技能）／合格基準 622 合格に必要な割合はおよそ62%	>	満点1650（550×3技能）／合格基準 1103 合格に必要な割合はおよそ67%。取りこぼしが効いてきます

図1：問題数・満点・合格基準はいずれも日本英語検定協会の公表情報より（注1・注2）。4級と3級の差は語彙の量ではなく、ライティングという技能が丸ごと加わる点にあります。合格に必要な得点率も62%から67%へ上がるため、1技能の欠落を他で補いにくくなります。

この差が、実際にどう効くか

- **ライティングが0点でも、理論上は合格できません。**読む・聞くで満点を取っても1100点。合格基準1103点にわずかに届きません。書く力を捨てるという選択肢は存在しない、というのが3級の設計です。
- **語句整序がなくなり、長文が増えます。**4級で得点源だった並べ替えがなくなるため、リーディングの手ごたえが下がったように感じる場合があります。これは実力低下ではなく、出題の入れ替わりです。
- **二次に面接が加わります。**4級までは一次のみでした。ただし一次から二次まで35日あるため、いま同時に進める必要はありません。

01 DIAGNOSIS / 2

つまずきの原因を切り分ける

3級で点が取りきれない原因を4つに分け、どれが当てはまるかを判定しました。

考えられる原因	判定	そう判断した根拠	この計画での扱い
① 語彙が足りない	一部該当	3級の過去問でリーディングが6割前後。語彙そのものより、知らない語が数個あると止まる状態です。	1日20分を配分。ただし最優先ではありません。
② 文法の理解が浅い	非該当	4級まで一度ずつで合格しており、中学中級程度の文法は入っています。	時間を使いません。分厚い文法問題集は使わず、過去問で間違えた箇所だけ戻ります。
③ ライティングの型を知らない	該当	そもそも4級までライティングの出題がなく、書いた経験がありません。得点の3分の1がここです。	最優先。1日30分、8月中に型を入れます。
④ 試験形式に慣れていない	一部該当	通しで時間を計って解いた経験がありません。ふだんの手ごたえが本番で再現するかは未検証です。	9月に過去問を通して。リスニングは週1回、25分の模試を土日に固定します。

図2：面談で伺った手ごたえと、過去の受験歴から判定しています。実際の資料では、お子様の答案や過去問の解き方を伺ったうえで、この表を作成します。

この診断から導いた、時間配分の方針

- 1日およそ90分のうち、**3分の1をライティングに固定**します。該当と判定した唯一の項目だからです。
- 文法には時間を割きません。非該当と判定した項目に時間を使うと、伸びる場所の時間が削られます。
- リスニングは強みなので、量を増やさず維持に徹します。1日5問と、週1回の通し模試だけです。

担当コーチの所見

4級であと一歩というところまで来ているお子様は、たいてい読む力と聞く力が先に育っています。そこにライティングが加わると、はじめて「できない」を経験することになります。ここで英語そのものを嫌いになってしまうケースを、何度も見てきました。ですから最初にやるのは、難しい単語を覚えることでも、文法をやり直すことでもありません。**いま知っている言葉だけで、型どおりに書けば点になる**という成功体験を先に作ることです。順番を間違えなければ、この学年でも3級のライティングは十分に届きます。

スタスタLIVE英検 学習設計担当

02 BACKCASTING ゴールから逆算する

一次までの64日と、そのあとの二次までの35日をどう使うか。

目標は**2026年10月4日（日）**の一次試験、8月1日から数えて**64日**です（注3）。合格すれば二次の面接は11月8日（日）で、一次からさらに35日あります。この35日があるため、**面接対策を先取りする必要はありません**。いまは一次、それも診断で唯一「該当」となったライティングに時間を寄せます。



図3：一次試験日と二次試験日は、日本英語検定協会が公表している2026年度第2回の日程です（注3）。二次はA日程が11月8日、B日程が11月15日で、こちらから選ぶことはできません。

1日のうち、英語に充てる時間の内訳（合計およそ90分）

ライティング 30分	語彙 20分	聞く 10分	読解 30分
診断で唯一の該当項目	一部該当のため中程度	強みの維持のみ	過去問と長文
小学生のうちは、量より毎日続くことを優先します。学校の宿題と習い事のあとでも収まる分量に置いています			

図4：配分は診断の判定にそのまま対応させています。該当と判定したライティングに最も厚く、非該当と判定した文法には枠を置いていません。実際の資料では、習い事と学校行事の予定を伺ってから決めます。

受験方式の選び方

従来型（紙の試験）

一次と二次が別の日で、二次の日程は指定されます。学校で慣れた形に近く、初めて受けるお子様には進めやすい方式です。今回はこちらを前提に置いています。

S-CBT（パソコンで受ける試験）

1日で4技能が終わります。ライティングはキーボード入力のため、字を書くのが苦手な場合は有利です。申込は実施月の約2か月前から先着順で、席は埋まります。

03 ROADMAP 合格までの全体像

今回の級だけでなく、その先まで見通しを立てます。

英検は級ごとに階段が切られていて、次にどこを目指すかが分かりやすい試験です。3級は**中学卒業程度**とされる級なので（注4）、小学生のうちに取れば中学の英語はずっと楽になります。さらに準2級、2級と進めば高校入試や大学入試でも使えます。**いま3級に時間を使うことは、この先ずっと効いてきます。**

一次試験の合格基準スコア（棒の高さ）と、合格に必要な得点率

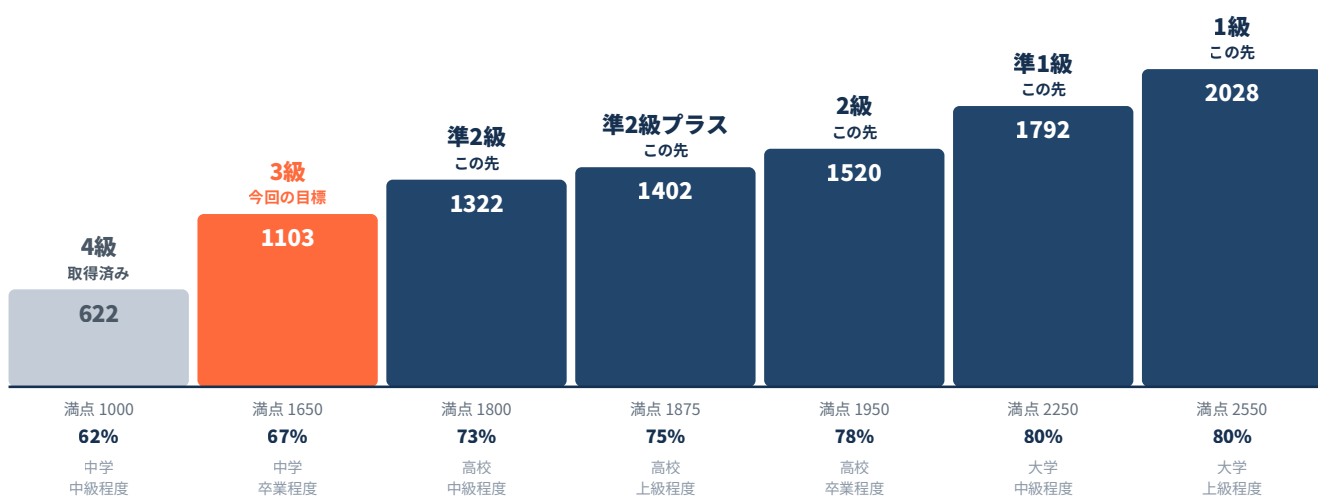


図5：棒の高さは一次試験の合格基準スコア、下の数字は満点と、合格に必要な得点の割合です（注2）。4級の62%から1級の80%へ、級が上がるほど必要な得点率も上がります。推奨する学習の目安は同協会の公表情報より（注4）。

この先の見通し

- **3級（今回）** 中学卒業程度。小学生のうちに取れると、中学入学の時点で英語の貯金ができます。
- **準2級・準2級プラス** 高校中級から上級程度。中学生のうちにここまで来ると、高校入試で優位に立てます。
- **2級** 高校卒業程度。大学入試で使える級で、多くの学校が評価の対象にしています。
- **準1級・1級** 大学中級から上級程度。入試だけでなく留学や仕事でも通用します。中学のうちに2級、高校で準1級というペースは、無理な話ではありません。

先を見せるのは、いまの1問を軽くするためです。どこまで行くかは進みながら決めれば十分です。ただ、次に何があるかが見えていると、目の前の1問の意味が変わります。いま覚える単語が次の級でも使うものだとなっていれば、同じ時間でも積み上がり方が違います。

04 PROGRAM 毎日の学習メニュー

診断の判定に、そのまま対応させた配分です。

ライティング

週4～5回

Eメールと意見論述、それぞれの型から

まず骨格を固定します。Eメールは相手の質問2つに答えて自分から情報を足す、意見論述は理由を2つ書く。難しい単語は使いません。書いたものは講師が目で見ても添削し、次の授業でなぜその表現なのかまで扱います。

なぜ。診断で唯一「該当」と判定した項目です。得点の3分の1を占め、かつ型が決まっているため、投じた時間がそのまま点になります。

語彙

毎日20分

でた単で、出るものから覚える

英検の名がついた単語帳でも出題を完全にはカバーできず、全部覚えても頭打ちになることがあります（注5）。でた単は英検の出題に的を絞っているため、同じ時間でも取りこぼしが減ります。覚えていないものが優先で出てくるため、自分でカードを作る手間もかかりません。

なぜ。「一部該当」の判定です。伸びしろはありますが最優先ではないため、20分に抑えてライティングに枠を譲ります。

リスニング

1日5問

強みを、強みのまま維持する

すでに8割前後で安定しているので、新しいことは足しません。自社アプリで1日5問を続け、週1回だけ通しの模試を入れます。本番は30問を続けて聞くので、長さそのものに慣れておくことが目的です。

なぜ。強みの項目に追加投資しても、得点の伸びは小さくなります。維持に必要な最小限だけを置きます。

読解

過去問中心

時間を計って、通して解く

過去問集をやり切ります。大切なのは、おうちの方のフォローなしで、時間を計って通して解くことです。ふだんの手ごたえが本番でも同じかは、この形で初めて分かります。間違えたところから文法に戻ります。

なぜ。「試験形式に慣れていない」が一部該当のため、知識ではなく本番の再現性を確かめる目的で置いています。

二次対策

一次のあと

面接は、一次が終わってから

3級の面接は音読、パッセージについての質問、イラストの描写、そして自分のことを答える問題という流れが決まっています。一次のあと35日あるので、先取りはしません。

なぜ。一次から二次まで35日という余裕があるため、いま前倒しするとライティングの時間を削ることになります。

やらないことも、決めています。中学生向けの分厚い文法問題集は、診断で「非該当」と判定した項目に対応します。3級に対して分量が過剰なだけでなく、進めるほど伸びる場所の時間が削られます。何をやらないかを決めるのも、計画の仕事です。

04 MATERIAL

語彙は、この単語帳で覚えます

その回の問題に出た語を、こちらで抽出してお渡しします。

市販の単語帳を渡して終わりにはしません。読む長文が変わるたびに、**その回の問題に出た重要語をこちらで抽出し**、イラスト付きの単語帳を作ってお渡しします。和訳の丸暗記ではなく**意味とイメージで覚える形**にしているため、初見の文でも語感が働きます。

2025年度 第2回 英検 準1級
リーディング Part1・Part3
覚える単語一覧

トトマルと一緒に覚えよう！
毎日の一歩が
大きな力になるよ！

この単語帳の使い方

- すべての単語に、意味を表すイラストがついているよ！
- 声に出して読んだり、例文を音読して覚えよう！
- 最後にテストもあるから、しっかり復習できるよ！

★ Part1 語彙問題 18語 (1~6)

1 remote リモート
人遠隔れた、遠隔の
The village is a remote area.
その村は人遠隔れた地域にある。

2 audible オーディブル
聞き取れる
His voice was audible.
彼の声は聞き取れた。

3 commuter コミューター
通勤者
She is a daily commuter.
彼女は毎日の通勤者だ。

4 commission コミッション
歩合、手数料
She earns a commission.
彼女は歩合を得ている。

5 fatigue ファティグ
疲労
He felt extreme fatigue.
彼はひどい疲労を感じた。

6 abruptly アブサプツリ
突然、急に
The meeting ended abruptly.
その会議は突然終わった。

★ Part1 語彙問題 18語 (7~12)

7 tolerate トラニエイト
許容する、我慢する
I can't tolerate rudeness.
私は無礼な振舞いを許容できない。

8 massive マッシブ
巨大な、大規模な
It was a massive project.
それは巨大なプロジェクトだった。

9 accommodate アコモデイト
収容する、対応する
The hotel can accommodate 200 guests.
そのホテルは200人客を収容できる。

10 forthcoming フォーミシング
直前に情報を出す
He was forthcoming with details.
彼は詳細を直前に話してくれた。

11 indebted インデブテッド
借りに情報を出している
I'm indebted to you for your help.
あなたの助けのおかげで感謝しています。

12 escort エスコート
付き添う、護送する
The police escorted him to safety.
警察が彼を安全な場所へ護送した。

★ Part1 語彙問題 18語 (13~18)

13 batch バッチ
一団、ひとまとまり
I baked a batch of cookies.
クッキーを一団焼いた。

14 evoke イヴーク
感情などを呼び起こす
This song evokes memories.
この曲は思い出を呼び起こす。

15 figure on フィギュア オン
覚悟にする、予測する
I'm counting on his support.
彼がサポートをしてくれると思っている。

16 shoot down シュート ダウン
撃ち落とす、壊す
The plane was shot down.
その機体は撃ち落とされた。

17 tear down テア ダウン
取り壊す
They decided to tear down the old building.
彼らは古い建物を取り壊すことにした。

18 get down ゲット ダウン
降りる
Please get down at the next stop.
次の駅で降りてください。

Part3 長文1 「Rocket Science」 前半30語 (1~6)

1 household name ハウスホルド ネーム
誰もが知っている有名な人・名前
She became a household name.
彼女は誰もが知っている有名な人になった。

2 media coverage メディア カバレッジ
マスコミによる報道
The event received a lot of media coverage.
そのイベントはマスコミから多く報道された。

3 achievement アchievement
偉業、功績
Her achievement was highly praised.
彼女の偉業は高く評価された。

4 behind the scenes ビhind ザ シーンズ
裏方で、裏に隠れているところ
They worked behind the scenes.
彼らは裏方で働いていた。

5 play a crucial role in プレイ ア クリカル ロール イン
重要な役割を演じる
The team played a crucial role in the project.
チームはプロジェクトで重要な役割を果たした。

6 unsung hero アンサング ヒーロー
名前は知られていないが功績を築いた人
Many unsung heroes support our society.
多くの名前は知られていないが功績を築いた人々が私たちの社会を支えている。

Part3 長文1 「Rocket Science」 後半30語 (7~12)

7 conduct calculations コンダクト カルキュレーションズ
計算をする
They conducted complex calculations.
彼らは複雑な計算を行った。

8 complex calculation コムプレックス カルキュレーション
複雑な計算
This problem requires a complex calculation.
この問題は複雑な計算が必要だ。

9 spacecraft スペースシャトル
宇宙船
The spacecraft was launched successfully.
その宇宙船は成功裏に打ち上げられた。

10 navigation ナビゲーション
航行、ナビゲーション
The ship's navigation system was faulty.
その船のナビゲーションシステムは故障していた。

11 aerodynamics エアロダイナミクス
空気力学
Aerodynamics affects an object's performance.
空気力学は物体の性能に影響を与える。

12 orbital physics オービタル フジックス
軌道物理学
Orbital physics helps scientists study the universe.
軌道物理学は科学者が宇宙を研究するのに役立つ。

見本：2025年度第2回 準1級のリーディングから作成した単語帳（全15ページ）。Part1の語彙18語と、長文「Rocket Science」に出た語を抽出しています。すべての語にイラスト、読み方、例文と和訳がつき、巻末にテストがあります。級と回が変われば、その回のぶんを作り直します。

なぜ、わざわざ作るのか

- 市販の単語帳では届かないから。英検の名がついた単語帳でも、出題を完全にはカバーできません（注5）。その回に実際に出た語から作れば、取りこぼしがなくなります。
- 和訳の丸暗記は、初見の文で働かないから。イラストで意味の中心をつかんでおくと、知らない文脈で出てきても意味を推測できます。選択肢を絞る力はここから生まれます。
- 読んだ文脈とセットで覚えられるから。授業で読んだ長文に出た語なので、その文章を思い出せば語も出てきます。単語帳だけを回すのとは定着が違います。
- 覚えたつもりで終わらせないため。巻末にテストをつけています。イラストを見て意味が出てくるか、例文が読めるかを自分で確認できます。

市販の「でた単」も並行して使います。イラスト付きの単語帳が主役、でた単が定着の確認役という役割分担です。学年に対して難しすぎる語は入れません。読んでいる長文に出た語だけを、その都度お渡しします。

05 RISK & DECISION

想定されるつまずきと、計画の組み替え

うまくいかない可能性を先に洗い出し、対処を決めておきます。

先回りして手当てしておくこと

想定されるつまずき	起きやすい時期	兆候	あらかじめ決めておく手当て
ライティングで手が止まり、英語が嫌になる	8月前半	白紙の時間が長い。書き始めるまでに時間がかかる。	最初の2週間は空欄を埋める形式から入り、白紙から書かせません。型が入ってから自力で書く形に移します。
リスニングの通し模試を嫌がる	8月～9月	25分は長いと言って手をつけない。	毎日ではなく週1回、土日に固定します。本番の長さに1度も触れずに当日を迎える状態だけは避けます。
過去問の手ごたえが本番で再現しない	9月	フォローつきでは解けるのに、通しで解くと点が落ちる。	9月の頭に一度、時間を計って通しで解きます。差が大きければ、残り1か月の配分を読解側に寄せます。
二次の面接で固まってしまう	10月～11月	音読はできるが、質問に答えられない。	一次のあとの授業を面接形式に切り替えます。35日あるため、ここから始めても間に合います。

図6：小学生の3級受験で実際に起きやすい順に並べています。実際の資料では、面談で伺ったご性格やこれまでの学習の様子から、その方に起きやすいものを選んで書きます。

計画を組み替える条件を、先に決めておきます

開始1週間の通し模試でリーディングが5割を下回った	➤	語彙が想定より入っていないと判断します。語彙を1日20分から30分に引き上げ、その分を読解から回します。ライティングの30分は動かしません。
9月半ばの時点でライティングの型が入りきらない	➤	10月4日の一次はそのまま受験し、経験を積む回と位置づけます。そのうえで2027年1月の回を本命に切り替え、11月と12月をライティングの仕上げにあてます。
8月末の時点でライティングが想定より早く仕上がった	➤	9月の枠を読解と語彙に振り替えます。余った時間で二次の面接練習を前倒しし、一次の直後から二次に集中できる状態を作ります。

なぜ先に決めておくのか。うまくいかない局面で、その場で判断するのがいちばん難しいからです。とくにお子様の学習では、思ったより進まない時期に不安から教材を増やしてしまい、かえって崩れることがあります。どの数字を見て、何をどう変えるかを最初に決めておけば、迷わずに済みます。

06 TRACKING 学習を見える化して続ける

やりっぱなしにせず、進み具合を数字で追いかけます。

一人ひとりに**学習計画表**を作り、毎日やることを明確にします。演習は自社アプリのスタスタAppsで正答率と弱点を数字にし、1日の学習が終わった段階でLINEに画面を送っていただきます。1日の学習量が分かれば、**本番までにどこまで到達するかが計算できます**。ここまでご家庭で見てこられた進捗管理と丸つけを、塾側で引き取ります。

学習のサイクル



図：授業で入れた型を宿題で使い、アプリと模試で結果を確認して、また授業に戻す。この循環があるので、やっただけで終わりません。

ご家庭にお願いすること

- 指導と添削は**すべて塾側が担当**します。丸つけや英作文の確認をご家庭でお願いすることはありません。
- お願いするのは**1日の終わりに学習画面を送っていただくこと**だけです。数字はこちらで集計します。
- 疑問はLINEでいつでも先生に質問できます。次の授業まで抱えておく必要はありません。

ページを飛ばさないようにします。アプリによっては、やっていなくても進んだことにできてしまいます。何をどれだけ進めたかが数字で残る形にしておくと、やったつものまま本番を迎えることがありません。

07 DELIVERY 授業と、担当のこと

画面越しに番号だけを答える時間にはしません。

担当は固定です

毎回先生が変わることはありません。学習の進み具合を把握した担当が一人つき、4技能をまとめて見ます。日程が毎回バラバラになり、ご家庭が合わせる形にはなりません。1回の授業は55分です。

ご希望の時間帯で組めます

曜日固定ではなく、担当講師と直接すり合わせて組みます。習い事の曜日、学校行事、ご旅行のご予定も踏まえて、無理のない並びにします。

小学生を教えるときに気をつけていること

1問ずつ一緒に見ながら、なぜその答えになるのかを対話で確かめます。答えを口に出すのが苦手なお子様もいるので、**書かせる、選ばせる、入力してもらう**という形も使います。分かっていないのに流されてしまう時間を作らないためです。ライティングの例文も、学年に対して難しすぎるものは使いません。**いまの学年で書ける言葉のまま、点になる形に整える**のが授業でやることです。

コーチング（授業とは別の時間です）

授業の時間を学習内容に使い切るため、**計画表の更新と全体の戦略は別枠**で行います。3級のあと準2級に進むと学習の中身そのものが変わるので、その設計もここで扱います。中学受験の学習が本格化する時期にどう配分するかも、あわせてご相談いただけます。

相性について。大学生の先生とプロの先生が在籍していますが、料金はどちらも同じです。年齢が近いほうが話しやすく、続けやすいこともあります。万が一、担当講師との相性が気になる場合は、交代もご相談いただけます。

08 PLAN コースの選び方

回数が増えるほど手厚くなります。金額は別紙料金表をご覧ください。

今回の診断では、該当と判定した項目が**ライティング1つ**です。ここは書いたものを添削して返す往復の回数が、そのまま伸びに直結します。また3級は二次に面接があるため、スピーキングも見られる回数があると安心です。スピーキングを並行して対策できるのは月6回以上のコースなので、**月6回**を推奨します。一次までは自習中心で進め、二次が近づいた月だけ回数を上げるという使い方もできます。

コース	回数	対策できる範囲
ライトコース	月4回	一次対策のみ。自習を中心に、要点だけ見てほしい場合。
スタンダードコース 推奨	月6回	一次に加えてスピーキングも並行。
スタンダードコースプラス	月8回	ライティングや弱点にさらに時間をかけたい場合。
プレミアムコース	月12回	最も手厚いコースです。

オレンジの行が、このモデルケースでの推奨です。回数は週あたりではなく月あたりで設定します。金額は本書には記載していません。別紙料金表をご確認ください。

お手続きの要点

- 入会金は初月のみ。お支払いはクレジットカード決済です。
- 回数には週あたりではなく**月あたり**で設定します。
- 受講できなかった分は原則、翌月へ振替対応します。
- コース変更は毎月**25日まで**のご連絡で翌月から反映されます。
- 受験直前の月だけ回数を増やす使い方もできます。
- 友人紹介制度があります。

教材について。でた単は無料でお使いいただけます。スタスタAppsも受講中にご利用いただけます。過去問集は市販のものをご用意ください。診断で非該当と判定した文法の教材は、今回は追加しません。

09 ABOUT この資料について

見本は架空です。実物は、お一人ずつ手作ります。

ここまでお読みいただいた診断も、数値も、日程も、**架空のモデルケース**です。実際にお渡しする資料は、面談で伺った内容だけをもとに**お一人ずつ作り直します**。とくに1章の診断と5章の分岐は、その方の話を聞かなければ書けない部分です。

面談のあと、ここが差し替わります

- **診断（1章）**。つまずきの原因の切り分けは、伺った手ごたえと過去の学習経験から判断します。この資料の中心です。
- **現在地の図**。成績表をお持ちであれば、技能別CSEと大問別の正答数という実数で作り直します。
- **日程**。実際に空いている会場と日程、受験方式、申込の開始日時まで調べたうえで置きます。
- **教材と1日の配分**。お持ちの教材を仕分け、生活リズムに合わせて量を決めます。
- **リスクと分岐（5章）**。その方に起きやすいつまずきと、計画を組み替える条件を書きます。

無料相談の流れ

- 1 お申し込みいただきます。オンラインで、およそ50分です。
- 2 現在地と目標、生活リズムを伺います。分かる範囲で構いません。
- 3 あなたのための計画表をお送りします。料金表とあわせてLINEでお届けします。

最後に

4級まで積み上げてきたものは、そのまま3級で効きます。新しく加わるのはライティングというひとつだけで、しかも型が決まっている分、対策を始めやすい分野です。

無料相談のお申し込みは、こちらからどうぞ。

apps.studystudio.jp/live-eiken/consultation

出典

注1 公益財団法人 日本英語検定協会「各級の試験内容」（大問ごとの形式と問題数）

注2 同「英検CSEスコアとは」および同協会FAQ（技能別の満点スコア、一次試験の合格基準スコア）

注3 同「2026年度 試験日程（個人でお申し込みの方）」（従来型の一次試験日・二次試験日）

注4 同「各級の目安」（推奨する学習の目安）

注5 スタスタLIVE英検 調べ（級間の目安学習時間、市販単語帳のカバー率）

英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。本書の人物・成績・日程はすべて架空のモデルケースであり、実在の受講生とは関係ありません。学習時間の目安と単語帳のカバー率は当塾調べです。料金の詳細は別紙料金表をご確認ください。